

2020年度

事業報告書

自 2020年5月1日

至 2021年4月30日

公益財団法人AOKI財団

# I. 事業概要

当財団は、生徒・学生を対象に、学業・人物共に優秀な者に対して奨学援助を行い、もって国際社会に貢献する人間性豊かな人材を育成し、我が国の教育の発展に寄与することを目的としています。

2011年の設立以降、10年目を迎えた当財団は、「ながの視察団 AOKI咸臨丸」事業、「AOKI塾」事業及び「AOKI起業家育成プロジェクト」事業の教育振興活動を通じて、我が国の教育の発展に寄与してまいりました。

しかしながら、当期に関しては新型コロナウイルス感染症(以下、「同感染症」)拡大の影響により、財団活動を制限してまいりました。期中において一部活動を再開いたしました。安心・安全対策を万全に行い実施いたしました。

当期の事業活動状況は以下の通りです。

## II. 事業の活動状況

### 1. 「ながの視察団 AOKI咸臨丸」事業

長野から日本の将来を担う人材を継続的に育成することを目的に、日本を背負い、日本をより良くしようとする志を持った長野県内の中学生を対象に、さまざまな経験の機会を提供し卓越した国家経営者の輩出の土台とするため、第6期に引き続き第7期「ながの視察団 AOKI咸臨丸」事業を実施いたしました。なお元号の変更に伴い、第7期より名称を「平成の咸臨丸」から「AOKI咸臨丸」に変更しております。

当初は2020年6月に募集をスタートし、7月に選抜、8月に結成式及び研修のスタートを予定しておりましたが、同感染症拡大の影響および政府による緊急事態宣言発令等を受け、事業の実施を1年延期し、募集開始を2021年5月とすることに決定いたしました。延期するにあたり、当期は事前準備を実施いたしました。

なお今後のオンライン研修実施の可能性を検討するため、咸臨丸OB/OGの有志が参加したオンライン研修を2020年12月20日(日)に実施し、問題なく行うことができました。

次期におきましては、第7期の募集及び選抜後、結成式・研修会を安心・安全に配慮し実施する予定です。2022年3月に予定しております海外研修は、状況を踏まえながら検討いたします。

**中学生の皆さん**

日本の将来を担う人材を目指し  
国内外の研修に参加しませんか。

これからの日本を背負い、日本と世界をより良いものにするために、  
将来の総理大臣にならんとする高い志を持った若者を募集します。

長野県内の中学生の皆さんを対象に、  
1年5ヶ月を通して取り組む特別プログラム!!

より良い社会を築き、国際社会に貢献できる国遣りを目指す人材を育成するために、  
日本や諸外国の政治経済などさまざまな分野の第一線で活躍する  
国内外の優良の御賢にふれることで、その意欲をより高め、  
鋭い感性、広い視野、深い見識を持つこととなるために  
自らを成長させていく有意義な機会を提供します。

第7期 ながの視察団  
AOKI咸臨丸

第7期「ながの視察団 AOKI咸臨丸」  
募集パンフレット

## 2. 「AOKI塾」事業

さまざまな体験を通じて学びを深め、向上心を深めるための活動資金として奨学金を支給する「AOKI塾」事業を引き続き実施いたしました。

しかしながら同感染症の影響により、第5期「AOKI塾」の募集時期を当初予定より延期し、2020年10月1日から同年11月2日にかけて、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県の中学生を対象として募集を行いました。募集にあたり、今回から郵送に加えAOKI財団のホームページからも応募できるシステムに変更いたしました。

書類審査の結果、長野県23名、新潟県1名、富山県1名、石川県2名、福井県4名、計31名を選抜し、2020年12月より2021年11月までの1年間分として、一人12万円の奨学金を支給いたしました。

次期は31名の奨学生に対し、2021年12月に中間報告会の実施と同月に2年目の奨学金の支給を予定しております。

## 3. 「AOKI起業家育成プロジェクト」事業

日本におけるスティーブ・ジョブズを育てることを目的に、横浜市在住及び横浜市内の公立私立中学校に在学中の中学生を対象に起業家教育を行い、将来、日本はもちろん世界で活躍する実業家を育てる第4回「AOKI起業家育成プロジェクト」事業を特別後援いたしました。

同事業は「AOKI起業家育成プロジェクト実行委員会」を運営母体として、横浜市教育委員会、国立大学法人 横浜国立大学 地域連携推進機構 成長戦略教育研究センター及び一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会にご後援をいただき、Space BD株式会社の全面的な協力のもと実施されております。

当事業は同感染症の影響により、募集時期を当初予定より延期し、2020年12月8日から2021年1月25日にかけて募集を行いました。募集にあたっては、従来の郵送に変わりすべてオンラインでの募集に切り替えました。第1次書類審査、第2次面接審査を経て、計14名（男性7名、女性7名）の研修生を選抜いたしました。なお第2次面接審査は、同感染症の感染防止及び2021年1月の緊急事態宣言の発令を受け、オンラインで実施いたしました。

緊急事態宣言解除後の2021年3月27日には、安心・安全対策を万全に実施し、横浜市にてオリエンテーション及び結成式を開催いたしました。

結成式の翌日の3月28日から、月1回の研修会がスタートいたしました。内容は北川達夫先生(星槎大学大学院 教育学研究科 客員教授)による特別講座と横浜国立大学 成長戦略教育研究センターによるアントレプレナーとしての資質と姿勢を学ぶ特別プログラムです。

なお同感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令及びまん延防止等重点措置により、4月度の研修はオンライン研修に変更いたしました。

次期におきましては、引き続き月1回の集合研修、8月の夏休み特別プログラム及び2022年3月の春休み特別研修を実施し、2022年4月には最終発表会、修了式を行う予定です。

なお2021年8月に関しては、当初海外視察を予定しておりましたが、同感染症の状況を受け、国内研修に変更する予定です。



2021年3月27日(土) 結成式

### Ⅲ. 管理部門

当財団の収入は、基本財産の運用収入、株式会社AOKIホールディングスと株式会社アニヴェルセルHOLDINGSからの寄付金と投資有価証券及び定期預金の運用益で賄われております。同収入額は一定額であるため、効率的にかつ効果的に教育振興活動に貢献できるよう、諸管理活動については必要最低限度の支出にとどめ、評議員、理事及び事務局の英知を集結して活動を実施してまいりました。

なお、前年度に引き続き、評議員、理事の方々には無報酬にてご参加いただきました。